

項目	事項	内 容	課題の 対応	東北地整		気象台		山形県				鶴岡市		酒田市		三川町		庄内町					
				実施内容	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容(河川課)	実施時期	実施内容(危機管理課)	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容	実施時期	実施内容	実施時期				
『避ける』	■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組																						
		・避難を促すための水害リスクの周知、点検の実施	4.5	・毎年出水期までに避難を促す首長トップセミナーを開催し、併せて共同点検を実施	継続実施									・出前講座で水害のリスクを周知する。	通年	・町内会等による研修会に積極的に参加し、住民の避難行動など、主体的な行動が行えるよう周知を図る。	継続実施	・共同点検の際に、水防隊以外にも、地域の方々からも参加していただく。	継続実施	・防災行政無線、固定電話、携帯電話、広報車等での情報伝達。 町職員・消防団員による地域巡回の実施。	継続実施	・町HPへのハザードマップ掲載と地区への配付。	・実施中
		・小中学校等における出前講座、水害教育の実施	1.2	・小中学校の授業の一環として「防災・河川環境」の取組を実施	継続実施	・小中学校への防災に関する出前講座は随時実施している。 ・水害教育に関しては「気象庁ワークショップ」というプログラムがあり、日赤と協力して行う予定。	随時	・小学校への「川の安全利用パンフレット」の配布	継続実施	・各学校で定める危機管理マニュアルに基づき、実効性の高い訓練を促し、生徒及び教員の防災意識の向上を図られるよう周知する(教育庁で通知)。	H28.7月	・各学校において、学校防災マニュアルの作成や避難訓練など、学校の教育活動を通じて防災教育を行っている。	継続実施	・要請を受けて、出前講座を実施する。	継続実施	・現時点で予定なしも、要請があれば実施していきたい。	H28年度から順次実施	・教育関係部署から依頼があれば、危機管理専門員の出前講座等を検討するが、この間の実績はなし。		・要検討			
		・情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	1.4.5			・時系列で危険度を色分けした分かりやすい表示に改善 ・数日先までの「警報級の可能性」の提供	H29年度から順次実施																
	・避難行動要支援者の避難誘導体制の整備	6.7										避難行動要支援者の避難行動の体制整備については、自主防災組織において検討するものであり、市も支援しながら、地区防災計画の作成につなげる。	H28年度から順次実施	・住民に登録制度の周知を行い、福祉部局で集約の上、自治会へ協力を依頼している	継続実施	・自主防災組織が主となって早期避難誘導を実施するよう体制整備を徹底させる。	H28年度から順次実施	・自主防災組織の活動を通じ、水害に対する防災意識(自助・共助)の向上へとつなげる。		・実施中			
②発災時に人命と財産を守る水防活動の強化																							
『防ぐ』	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																						
		・安全確保を十分に行った上での、洪水時の巡視及び水防活動の連絡及び実施体制の検討・構築	8.9										・水防団員の巡視活動時における安全確保に努めるとともに、洪水時においては、鶴岡消防防災メールに登録している水防団員(消防団員)に情報を提供し、活動している。	継続実施	・水防隊全員へ隊内連絡用トランシーバーを配布し連絡体制の強化を図った	実施済み	・水防団員に対する連絡体制の確立	H29年度内	・警報発令時は、関係する消防団に連絡し巡視している。ライフジャケット等の備品が未整備。	・要検討			
	・重要水防箇所及び水防資機材の合同巡視・点検	9.10	・出水期前に自治体、水防団及び地域住民と重要水防箇所合同巡視を実施	継続実施			・水防協議会の開催	継続実施	・合同巡視にて情報共有		・出水期前に、関係機関や水防団、地域の町内会長・住民会長と合同巡視を実施	継続実施	・共同点検の際に、水防隊以外にも、地域の方々からも参加していただく。	継続実施	・現行通り		・酒田河川国道事務所との重要水防箇所合同巡視へ地域の自主防災組織からも参加を募る。	H29年度					
③一刻も早く日常生活を取り返すための排水活動の強化																							
『取り返す』	■排水活動の強化、施設運用に関する取組																						
		・排水施設操作状況の情報共有と地域住民等への情報提供方法の検討、構築	13	・背後地を考慮した、洪水時の水門、樋門、樋管操作状況の自治体への情報共有手法の整備・実施	H28年度から順次実施								・洪水時においては、河川管理者などから、水門等の操作状況を確認している。	継続実施	・河川管理者等からの操作情報を受け、庁内及び近隣住民へ提供する。	H28年度から順次実施	・排水施設操作関係者との連携を強化する。	H28年度から順次実施	・酒田市丸沼地内にある土地改良区の排水機場を操作する際は、町にも連絡が入り、町の排水機場も稼働する。	・実施中			
	・排水計画の策定及び排水訓練の実施	12	・排水設備及び排水ポンプ車の配置計画の検討 ・排水ポンプ車による訓練の実施	H28年度から順次実施													・町所有排水ポンプ車の性能点検を各河川にて、委託を受けている土地改良区が実施。連絡を受け町職員も立会っている。		・実施中				